

「みんなで作ろう 市民トーク」開催結果（片浜地区）

1 日時等

- (1) 日 時 7月9日（月） 午後7時00分～午後8時45分
- (2) 会 場 片浜コミュニティ防災センター
- (3) 内 容 市長による市政情報、地区が希望する説明、質問票
- (4) 参加人数 36人



2 地区の希望する市政内容について説明（20:10-20:30）

(1) 片浜区の未来について市長に問う

ハイナン農協が経営改革の中、支店の統合を進めています。そうした中で片浜支店も来年度内に統合が決まっているとのこと。昨年片浜小学校の統合が行われまだ1年と2ヶ月。「今度は農協か」と大変なショックです。このような状況を市長はどのように思われますか。市長権限や行政権限があるなら、すぐにも農協に対して発令していただきたい、そんな思いです。

このままでは片浜区の未来が心配でなりません。片浜区民がこれから先も安心して暮らしていけるようなお考えを伺いたい。

【回答：杉本市長】

ハイナン農協の経営改革において、現在の17支店を平成32年1月までに10支店に再編する計画との説明を受けています。今までは金融部門が稼ぎ頭で、稼いだお金を農業政策などに回していけました。現在はマイナス金利で金融部門が非常に厳しくなってきました。さらなる整理・統合をして、経費削減をする必要があるとのことでした。片浜支店についても平成31年2月までに相良・片浜・菅山統括支店になると伺っています。

ハイナン農協が経営改革として実施していますので、この件について、市長権限や行政権限はありませんが、利用者の皆さんが不便にならないよう進めて

もらうように、お話しさせていただきます。

片浜地区は、片浜小学校の閉校もありましたが、カタショーワンラボとして活用しながら、地域の皆さんが主体となって皆で一緒になってまちづくりを進めています。カタショーワンラボでは魅力発信、マルシェの開催、居場所づくりという4つの具体的な取り組みを行っています。

8月4、5日には納涼祭、また納涼祭の前夜祭ということで盛り上げていただく。昨日もサイエンススクールということで、山崎こども財団の学ぶ拠点として活用していただいています。

この地域にある海や山などを活かしながら、市内外の方との交流が、片浜小学校を舞台に繰り広げられることを期待していますし、進めていかなければなりません。沿岸地域の活性化は市の大きな課題です。人を呼び込む取り組みについて検討を進めています。

この地域の皆さんにも頑張ってもらっています。特に今日、釣徳寺の住職がお見えですが、新しいお寺のスタイルを作ろうと檀家さんだけではなくて地域の皆さんと共に素晴らしい取り組みを行っています。“いいとこまんじゅう”の皆さんも、絆づくり事業で継続して行ってもらっています。

地域づくりは、行政だけではできません。地域の皆さんや企業、商工業者等とも連携を図りながら取り組むことも必要ですので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

【再質問】

市長という立場で我々の未来の背負っているわけですので、大変な役目であるとは思いますが、片浜区を今後どのように進めていくかをお聞きしました。

私も農協に聞きに行きましたが、その時の回答は、ATMの機械は現在と同じ所に残すとのことでした。職員のいない建物で、高齢者が年金をおろす時に、ATMをうまく操作できれば良いですが、もし出来ない場合困ってしまいます。

また、誰もいないところで高齢者が現金を下ろせば、犯罪に巻き込まれる可能性もあります。そういうのをどうするかと聞いたところ、答えが返ってきませんでした。

他のJA、ハイナン農協ではないところでは、移動店舗車を導入してATMを活用していました。何月何日の何時～何時までは移動店舗車が行きますから、そこでお金をおろしてくださいと、やっている所があります。こうした答えが返ってくると思っていましたが、「ATMがあります」だけでは私たちは納得いきません。ぜひ行政から助言や指導をしていただければ有難いと思います。

そして片浜まちづくりに関してですが、片浜まちづくり実行委員会の方たちとも協議をしながら、区会も一所懸命やっています。

先ほど市長から田沼意次侯生誕300年祭について説明がありましたが、なぜ

その中に田沼街道の復元が出てこないのかと驚きました。せっかくあるものをなぜ使わない。そして旧片浜小学校や旧坂井平田漁協などを活用したフィルムコミッションはできないでしょうか。ぜひ活用していただきたい。

そして片浜には今、買い物に行くところがありません。地域住民の日常の買い物の場として、区民が運営に参加できるような「片浜道の駅」ができれば、絆づくりにもなります。現在、旧駐在所を活用して、お菓子の販売や地域の絆づくりの拠点としてがんばっている「いいとこまんじゅう」も一生懸命やっています、片浜のまちづくりを進めています。

今後も市長には今まで以上のお力をお借りして、一つ一つ実現するよう、市と同じように区会も頑張っていきます。ぜひご協力していただきたいと思しますので、よろしくお願いします

(2) 片浜沿岸における砂山の除去について

高潮や台風などで波が堤防を乗り越え、災害をもたらしています。その原因の一つが、海側の堤防の高さまである砂山です。波が坂道を上るように堤防を乗り越えてきます。台風などで、河川の排水溝の出口を砂で塞いでしまい、蓋が開かなくなり、大雨の時には冠水被害も起きています。

今はポンプで排水していますが、間に合いません。近隣の地主の方たちが困っています。そこに一軒の家があり、数年前に浸水したこともあります。

被害を起こさないためにも、台風の前にできたら一番いいですが、早急な対応をお願いしたい。

【回答：杉本市長】

今年の6月に島田土木事務所の皆さんと、市の担当を含めた円卓会議を行いました。その場でも県に対して、現状・実状を訴え、予算付けの話をしました。9月補正で確保をするように努力するということでしたので、引き続き県にお願いしていきます。また水路の閉塞箇所があるようであれば、市が先行して、流れる道を確保することについて、現地を確認して対応していきたいと思します。

先ほど区長からご意見をいただきましたJAの関係についても、要望があったということ、私の方からもJAにお伝えし、できるだけご不便をかけないように、再度、確認の意味でお願いをしていきたいと思します。

JAからのお知らせの中に「支店が今までより遠くなることによる不便さを感じないように、年金受給日に自宅に渉外担当者が現金を持参する“年金宅配サービス”を開始する」と記載があります。

一店舗あたりの融資担当者や共済渉外を集約し、金融渉外を増員して組合員・利用者の要望に応えられる専門性の高い職員を育成していくということです。「組合員や利用者の皆さんのお宅にお伺いできる」「出向く体制を強化する」

「訪問を強化する」ということが記載されています。そういったことについても併せて確認・要望していきたいと思います。

田沼街道の活用ですが、今年はプレイベントです。田沼街道は藤枝まで繋がっており、ここを活用することによって旧榛原相良の市民の一体感の醸成や、沿線の活性化もあると思っています。副市長が実行委員長ですので、色んな相談・企画をさせていただきたいと思います。

【回答：横山副市長】

実行委員会を今年度5月に組織しました。今年はまだプレイベントですが、先ほど区長から提案されたようなご意見を頂きながら、来年度に向けてきちっとした計画を作っていく段階です。また皆さんから色々なアイデアを頂きたいと思います。

【再質問】

農協の件ですが、私のところに資料がなく申し訳ありませんでした。そういうことであれば、ぜひ農協に実行してもらえれば有難いと思います。区会以外の方も安心したと思います。

そして田沼街道の件ですが、区会の中でも田沼街道の話をするところがあります。金谷の石畳は、金谷の住民が石を一つ一つ持ってきて綺麗に整備し、絆が持てたという話も聞いています。田沼街道の復元によって絆ができればと思い、話をさせてもらいました。

【回答：大石秘書政策課長】

J Aハイナンの組織改編につきましては、今月のJ Aハイナンの広報に掲載があります。全員の方が組合員になっているか分かりませんが、情報の共有をしていただければと思います。

3 個人からの質問票による意見・質問 (20:30-20:45)

(1) 避難タワーの整備

避難タワーや命山は、静波地区・榛原地区どこにもありますが、片浜地区だけは裏山に逃げるということで、避難路しかありません。

今回、西日本の豪雨災害はすべて土砂崩れなどであり、片浜の避難路は、地震や大雨などによる土砂崩れで、すぐ壊れると思います。予算がないかもしれませんが、1つか2つ、片浜地区にも避難タワーを作っていただきたい。

【回答：杉本市長】

東日本大震災があって以降、津波防災まちづくり計画を、平成24、25年と2

年間かけて、沿岸部地域の皆さんとお話をさせていただく中で、整備を進めてきました。

こうした計画をもって、全体計画を国の承認を経て整備してきたことですので、今から避難タワーを作るとなると、またそれをきちんと位置付けをして、国の補助をもらう手続きが必要になります。

今は国の制度見直しなど色々な課題があります。私もお気持ちは十分理解できるところです。今の避難路の脆弱な部分で、危険があるようであれば、そこもしっかりとやらせてもらいます。そうした意見もあるということで、防災担当も含めて研究させてください。

(2) 避難所整備の補助について【釣徳寺】

釣徳寺は、牧之原市の企画課と観光課のおかげで、大きく流れが変わりつつあるお寺です。現在、土日になると市外もしくは県外から、毎回必ず観光客が来て、御朱印を買いに来てくれます。いわゆる買い物ができるスポットです。

今回、裏山に津波避難の避難路を作っていただけるということで、ありがとうございます。ただ土砂災害が心配なのは、私も同じです。

できる事ならば、宗教法人としては、外貨の獲得を目標としておりまして、牧之原市外からお金をいただき、それも悪いことではなく良いことでお金をいただけるよう、色々な商品を作って売り出しているところです。

観光客を呼び寄せると、おのずとエリア価値も上がっていくと思いますが、それぞれの建物に業務用の炊き出し用の鍋などを用意してあったり、全く何も入っていない倉庫や収納庫が用意してあります。実は避難場所・防災の拠点としても考えている最中です。

お寺の住職というよりは、宗教法人の代表役員として考えますと、お寺を防災拠点として、また避難所として開放するには、当然のことながら周辺整備や耐震補強が必要になると思います。そうした補助について質問します。

【回答：糸田防災課長】

今、市の制度としては避難地・避難場所、片浜地区の皆さんにおいても、一時的に避難する場所、そしてそこに逃げる場所については補助を出しています。建物の耐震化ということになりますと、避難所までの整備については補助金の制度の中では賄えないかなと思っております。またご相談させていただければと思います。

【回答：杉本市長】

耐震補強事業が寺院にも該当するか、またそういった事業があるか調べて、住職に報告します。

(3) 防潮堤かさ上げについて

東日本大震災の時に、市でもかなり防潮堤のかさ上げの話がありましたが、ここ数年は市民トークでは話題にのぼってきません。今、どこまで工事が完了して、これからどこをやっていくのか。片浜の東の方は、まだまだ工事の手が伸びていない現状ですので、砂山の撤去も費用がかかりますが、震災当時の計画ではもう着手していたはずで、なかなか見えてこない、今現在の情報を出していただけたらと思います。

【回答：杉本市長】

先ほども防潮堤の話、地頭方漁港のところの話をさせていただきました。

牧之原市は海岸が15kmあります。そのうち海岸の管理者が、細江海岸は国土交通省直轄・静波海岸・相良港は県の港湾管理区域・片浜海岸は河川海岸の県の管理になります。

今、県の河川海岸の中では、地頭方の東沢川から北に向けて（相良側）に向けて進めています。津波の想定高が高い方からやりましょうということで進めています。工事現場を見ていただいて分かるように、非常にお金がかかります。1億円付いても数十メートルです。大変遅れていることについて申し訳ないと思っています。

地頭方の漁港については市が管理しています。これは農林水産省と県の補助を貰って、市がやっています。年間1億円とか今年度は1億5千万円くらい貰えそうです。本当に時間がかかるということです。今年度は15kmの海岸線で、事業計画・整備計画がしっかりできているのは、地頭方海岸や地頭方漁港であります。その他の地域は、どこにどんな物を築こうという計画すらできていません。それを今年度、市の方で予算を2千万円ほどつけまして計画づくりをするということで、先ほど言った4つの事業者が入ってやっていく。先日の行政連絡会で、建設部から沿岸部の区長さんに説明をさせていただきました。

今年度計画づくりをするので、ご協力いただきたいということでお願いをさせていただきました。まず、そこをやらせていただくのが最初だと思っていますし、県に対して予算付けをするように要望活動をやるしかないと思っています。事業促進に向けて取り組んでまいります。

【再質問】

たしか嵩上げするにあたっては、土地を提供するというので私たちはちゃんと契約のようなものをしてあるはずで、それも白紙になっているということでもよろしいですか。私たち嵩上げするために、土地を提供するというので書類を提出しているのですが、説明会があり、各家庭で署名と印鑑を押印しているはずなのですが。

【回答：杉本市長】

平成 26・27 年に河川海岸の管理区間についてはやっています。地頭方だけでなく、この地域の説明会にも来ています。

県の担当が来て計画についての話し合いはしたと思います。片浜の区間については、今の防潮堤に何十cmかの嵩上げをすればよいという話をさせてもらったと思いますが、今一度、確認します。

【回答：飯塚建設部長】

土木事務所に確認します。確認後は、区にお答えします。

(4) 旧片浜小学校への避難について

以前、片浜小学校だった時、片浜地区の防災拠点として最終的に片浜小学校に避難することになっていました。私が直接、マキノハラボに伺えばいい話ですが、災害があった時に私たちはまだ片浜小学校に避難しても良いのでしょうか。確認です。

【回答：マキノハラボ】

市とマキノハラボの契約の中で、災害時には避難していただくことになっており、屋上への避難路や防災倉庫などは、そのまま維持しています。我々も、そういった時には積極的に地域に対応していきたいと思っています。

まだ我々と皆さまとの対話がしっかりできていない部分があるかもしれないので、今後、いろんな形でご案内できればと思います。